

三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 26 年 9 月 26 日

上海デスク（上海納克名南企業管理諮詢有限公司）

「中国の最新高速鉄道事情」

中国の経済成長が減速する中で、景気の積極的な下支えとして、近年、中国国内の高速鉄道網が急速に整備されています。

急速に拡大する中国の高速鉄道網

筆者は出張のため中国国内を移動することが多いのですが、最近では遠方への移動にも飛行機ではなく鉄道を利用する機会が増えました。その理由の一つとして、高速鉄道（CRH：中国版新幹線）の専用路線やダイヤが整備され、鉄道での移動時間が短縮され、非常に便利になったことが挙げられます。

経済成長が減速気味とされる中国経済にあって、景気下支えの為に積極的な公共投資が行われていることもあり、この数年は急ピッチでの線路建設が各地で進められています。

その結果、国内では毎月の様に新しい路線が開通し、鉄道ダイヤが改正されるため、以前は駅や書店などで「時刻表」本が販売されていたのですが、内容がすぐに古くなってしまうためか、最近では全く入手することが出来なくなりました（時刻表好きの筆者にとっては少し残念です）。

飛行機VS高速鉄道

ところで、高速鉄道のライバルとなる中国の国内線飛行機は定時に出発することは少なく、頻繁に遅延が発生します。最近ではPM2.5大気汚染の問題もあり、遅延傾向に拍車がかかっていると感じています。一方、高速鉄道はほぼダイヤ通りに出発し、大体ダイヤ通りに到着します（もちろん遅延する場合がありますが、何故かダイヤより早く到着する場合があります）。また運行本数も多く（例えば広州－武漢間では1時間に4～6本運行）、座席数も多い（16両編成がメイン）ため、スケジュールも立て易く、場合によってはトータルの移動時間が飛行機と大差ないケースもあります。その結果、高速鉄道の開通によって並行する航空路線の大幅な減便や路線廃止となるケースも増加しています。

国内移動が便利になり内需が活性化する？

飛行機も含め、中国の交通機関の費用は日本に比べ非常に割安です。但し、中国の物価水準を考慮し運賃を高く出来ない事情もあります。

中国浙江省で 2011 年に発生した高速鉄道の衝突事故により、日本人の中国高速鉄道に対する不安、不信感はいまだ根強く存在すると思います。しかし、大量高速移動が実現することによる経済効果により、中国国内の消費が活発化すれば、中国進出を検討する日本企業にとっても、ビジネスチャンスが拡大する可能性が高くなると筆者は考えています。